



発行：近畿長野県人会 会長 高坂昌利

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-800

大阪駅前第1ビル8F 長野県大阪事務所内

TEL 06-6341-8191 (代) E-mail:kinkinagano@gmail.com

編集：近畿長野県人会 広報部

印刷：コア(株) TEL.06-6968-5534

平成29年定期総会・新年懇親会を開催

—創立55周年を迎えて—

平成29年定期総会・新年懇親会が1月29日(日)に大阪市北区のホテルグランヴィア大阪20階・名庭の間で開催された。寒い日が続いていたが、当日は寒気も緩み、来賓・会員合わせて133名が出席、大盛会であった。

和気あいあいと新年懇親会

新年懇親会は、正午から北澤健司常任理事の司会、開会宣言でスタートした。

始めに高坂昌利会長が「本日は会場の15テーブルを埋め尽くす大勢の皆さまにご出席いただき有難うございます。年末年始に開催された高校駅伝大会や都道府県対抗駅伝大会、高校ラグビー大会では長野県の代表チームが大活躍して応援にも力が入りました。大相撲では御嶽海関の活躍で大変盛り上がっています。本日は、長野県副知事の太田寛様はじめ



多数のご来賓にお越しいただいております。今回は松本市が推進している「残さず食べよう！30・10運動」にならって、最初の30分間は食事をゆっくり召し上がっていただく予定です。」と挨拶し、来賓の方々を紹介した。

来賓を代表して長野県太田寛副知事が「この会に商工労働部長時代を含め3回出席させていただいております。近畿長野県人会からの有形無形の支援に感謝しています。長野県では、昨年6月に長野市で開催した全国植樹祭に天皇・皇后両陛下がご出席され、11月には阿智村の満蒙開拓平和記念館を訪問されました。9月下旬にはG7交通大臣会合が軽井沢で





開催され、伊勢志摩でのG7サミットでは長野県産のワインが出され好評でした。」と述べられ、今活躍中の御嶽海関の高校時代のエピソードも紹介された。

次いで小口利幸塩尻市長からの祝電が披露された。

祝宴開始

祝宴は小林道明副会長・親睦部会長の乾杯の音頭で始まった。今回は長野県産の地酒で乾杯。各テーブルにはビュッフェスタイルで八寸・造り・温物・焼物・揚げ物・食事などが順次配膳され、参加者は季節の味を賞味しつつ、会員・県人会提供の信州の銘酒「井筒長」、焼酎、信州のたかやしろワインなどを酌み交わし、歓談の花を咲かせていた。

続いて太田豊和副会長が各方面から提供していただいたお土産や抽選会の景品、飲み物などを紹介し、お礼を述べた。(P5に掲載)



乾杯・小林副会長

暫く食事に専念して、頃合いをみて来賓の方々から祝辞をいただいた。

最初に長野県大阪事務所樋口隆教所長が「高坂会長をはじめ近畿長野県人会より多大なるご支援をいただき感謝しています。信州の魅力に関西の方々を知っていただき、観光・移住など皆さんと一緒に進めたい。」

次に京都長野県人有賀一夫会長が歌会始で詠まれた皇太子殿下の〈歌〉を披露され、「故郷に感謝、水に感謝」と、水に恵まれたふろさと信州・安曇野を偲ばれた。

最後に田辺三菱製薬(株)土屋裕弘会長(当会顧問)が「松本から出てきて関西で50年になります。田辺製薬は1678年創業で日本で一番古い製薬会社で、史料館も新設しました。」と紹介され、当日全員に提供された乾燥性皮膚治療薬〈メディスキンコート〉およびタナベ胃腸薬〈ウルソ〉について説明された。



来賓席の皆さん



お楽しみ抽選会—景品は100人に

中井良策常任理事の総括のもと、小倉尚子副会長・小倉智子理事の司会進行でお楽しみ抽選会がスタート。最初に北野建設(株)寺島寛典大阪支店長から、酉年生れの会員11名に「干支入り紅白タオルセット」が贈られた。

抽選に入り、(株)サンリット産業小池俊二会長からの「ブレザー」2着は、赤西千恵子さんと増田章隆さんが当選した。続いて伊那食品工業(株)伊藤哲成大阪支店長から「野沢菜漬 2束入り袋詰め」が22名に、旭松食品(株)木下博隆社長から「製品詰合せ」が15名に、信州ハム(株)金子和夫課長からは「熟成ロースハム」が15名に、八十二銀行片桐伸介大阪支店長から「ノベルティ詰合せ」が15名に、私・清水嘉江子からの「播磨屋おかき」が5名に、小倉尚子さん・智子さんからの「栗玄 和洋・金の森」が10名

に、小林道明さんからの「商品券五千円・四千元・三千元・二千元・千円」が15名に当たり、最後には昼神温泉ユルイの宿「恵山」田中尚夫社長からの「ペア宿泊券」が小倉千裕さんに当たった。

合せて100点に及ぶ景品を参加者は引き当てた。当選できなかった30余名には圓山武さん提供の「栗羊羹」が配られた。

熱気に満ちたお楽しみ抽選会の後は、全員が起立して「ボケマス小唄」を歌い、次いで県歌「信濃の国」を6番まで斉唱し、信州に思いを馳せつつ元気よく歌い上げた。植松高志常任理事がエール「フレ！フレ！長野！」と音頭を取り、太田博副会長の閉会の挨拶で楽しかった新年懇親会はお開きとなった。

清水嘉江子(松本市出身)



ペア宿泊券の抽選



エール・植松常任理事

お土産・景品ご提供者の“PR”

○田辺三菱製薬 土屋裕弘会長(当会顧問)

- ・私は松本から出て来て関西で50年。
- ・田辺製薬は1678年創業、第4代将軍家綱の時代で、339年になる日本で一番古い製薬会社です。本社を建設した時に史料館を設けたが、無料なので見学に来てください。
- ・メディスキンコートは乾燥肌に効く。
- ・タナベ胃腸薬ウルソは「肝・胆・胃腸 効き目が巡る！」隠れたベストセラー薬で、試供品は10錠入り10日分です。

○北野建設 寺島寛典執行役員大阪支店長

- ・今まで長野県出身の支店長がいなかったが、私は長野市出身です。鉄骨をプレゼントすることも出来ないので、新年の干支(酉年)を刺繍したタオルを用意しました。

○サンリット産業 小池俊二会長(当会顧問)

- ・いつもはタイガースプレザーを持ってくるのですが、昨年タイガースが弱かったのでやめました。今年はそれ以上の品質のプレザー2着を用意しました。

○伊那食品工業大阪支店 伊藤哲成支店長

- ・社員全員で栽培し、漬け込んだ野沢菜です。塩分控えめにして内藤とうがらしを入れて辛みをつけ、今年は味がいいです。千里山にショップがあり、1袋800円で売ってます。



法人会員の皆さん

○旭松食品 木下博隆社長

- ・飯田市に本社があります。景品は当社製品の詰め合せで、「福袋」です。

○信州ハム 金子和夫課長

- ・上田市の千曲川近くの本社工場で生産しています。熟成ハムなので厚く切ってステーキで味わってください。私は映画「君の名は。」の新海誠監督と同じ南佐久の出身です。

○八十二銀行大阪支店 片桐伸介支店長

- ・昨今はマイナス金利でご迷惑をおかけしています。その分景品のノベルティーは去年より3割アップの品物です。

○圓山武 顧問

- ・長野県飯島町のふるさと大使をしています。地元特産の栗で作った羊羹です。食べていただき感想をお聴かせください。

(文責：広報部会)





お土産、酒類、景品等の提供者 (敬称略)

[お土産] ー参加者全員にー

- ▽田辺三菱製薬：メディスキンコート 他
- ▽伊那食品工業：寒天ぞうすい・プチ寒天麺 他
- ▽旭松食品：新あさひ豆腐・新あさひ粉豆腐
- ▽信州ハム：おつまみサラミソーセージ
- ▽(株)おびなた：信州戸隠 生そば
- ▽長野県大阪事務所：観光案内パンフレット他
- ▽松本市：「残さず食べよう！30・10運動」コースター

[宴会場持込酒類]

- ▽田川善弘：信州たかやしろワイン 720ml 16本
- ▽中井良策：清酒「井筒長」 1.8ℓ 3本
- ▽近畿長野県人会：焼酎(麦・芋) 1.8ℓ 2本
- ▽長野県大阪事務所：原産地呼称管理制度認定品 (佐久地方地酒)清酒 1.8ℓ 5本

[贈答品]

- ▽北野建設：干支入り紅白タオルセット 11
- ▽圓山 武：栗羊羹 40



[お楽しみ抽選会 景品]

- ▽サンリット産業：サンリット プレザー 2
- ▽八十二銀行：ノベルティ詰め合せ 15
- ▽昼神温泉ユルイの宿 恵山 ペア宿泊券 1
- ▽小林道明：商品券(5千円～千円) 15
- ▽小倉尚子・小倉智子：栗玄 和洋・金の森 10
- ▽清水嘉江子：播磨屋本店 おかき 5
- ▽近畿長野県人会：
 - 伊那食品工業・野沢菜漬(2束入り) 22
 - 旭松食品・詰め合せ 15
 - 信州ハム・熟成ロースハム 15

[寄付金]

- ▽土屋裕弘 1万円

心から御礼申し上げます

新年懇親会開催に際し、法人会員および個人会員多数の方々から上記のご寄贈・ご寄付を頂きました。心から御礼申し上げます。

近畿長野県人会 会長 高坂昌利



平成29年定期総会(報告)

午前11時から大平文人副会長・総務部会長の司会のもとに定期総会が開会。

始めに昨年亡くなられた会員5名のご冥福を祈り黙祷を捧げた。

次いで高坂会長が「本会は昭和37年5月に設立され、本年は55周年を迎えますが、特別の祝賀会は行わず、日頃の交流活動に重点をおいて進めて参ります。昨年の総会で一般会員の年会費を3,000円に改定いただき、本年1月から実施します。事業活動において費用の一層の節約を進めて参る所存です。また、財政の安定には新会員の獲得が重要です。ご紹介をお願いします。」と挨拶。会則に則って会長が議長席について議事を進めた。

平成28年事業報告および収支決算報告

事業報告は事務局の中村絃一常任理事が「昨年は9月に全員懇親会を西宮えびす神社で開催、70名が参加し、神社参拝とえびす座の人形芝居を鑑賞した。また長野県代表チームの応援にも大勢参加いただいた。同好会活動も3年目を迎え、参加者が増え、定着してきた。」と説明。

収支決算は太田豊和財務部会長が報告。

平成28年収入支出決算(1月1日~12月31日)
(単位:円)

	予 算	実 績	増 減
収入の部			
会費収入	3,200,000	2,994,500	△205,500
雑収入	100,000	66,962	△33,038
前年繰越金	494,817	494,817	0
収入合計	3,794,817	3,556,279	△238,538
支出の部			
事務局費	430,000	395,234	△34,766
会議費	1,400,000	1,691,038	291,038
事業費	1,660,000	1,299,048	△360,952
予備費(*1)	120,000	80,060	△39,940
支出合計	3,610,000	3,465,380	△144,620
次年度繰越	184,817	90,899	△93,918

*1:予備費:パソコン入れ替え

「新年会及び全員懇親会の補助、県代表チームの激励祝金など支出が増加、古いパソコンの入替えなど嵩み繰越金が減少、厳しい決算となった。」と説明。

続いて田川善弘監事から「適正に処理されている」と監査報告があり、両議案が承認された。

役員を選任

竹岡喜茂理事が辞任されたのに伴い、新任理事に野池徹氏(長野市)を選任、役割変更として、常任理事に植松高志理事と鳥田宗人理事の2氏を選任、承認された。

平成29年事業計画(案)および収支予算(案)

事業計画(案)は高坂会長から「今年は、本日の新年懇親会と秋に計画されている日帰りバスツアーは親睦会に変更して実施する予定。自主的な同好会活動を拡大したい。また新しくホームページを作成し、会員への情報提供と新会員の入会促進にも活用したい。」と説明。

収支予算(案)は太田財務部会長から「新年会、秋の親睦会への補助も含め効率的な運営に努力したい。HPも、会員のボランティアで作成していただく。」と説明。両議案が承認された。

議案審議が終了後、太田豊和副会長から新入会員の紹介と、中井良策常任理事から親睦部会の活動概要の説明があった。

平成29年収入支出予算(1月1日~12月31日)
(単位:円)

	予 算	前年実績	増 減
収入の部			
会費収入	3,250,000	2,994,500	255,500
雑収入	80,000	66,962	13,038
前年繰越金	90,899	494,817	△403,918
収入合計	3,420,899	3,556,279	△135,380
支出の部			
事務局費	400,000	395,234	4,766
会議費	1,520,000	1,691,038	△171,038
事業費	1,370,000	1,299,048	70,952
予備費	20,000	80,060	△60,060
支出合計	3,310,000	3,465,380	△155,380
差引収支	110,899	90,899	20,000

運営基金29年末現在高 2,000,000円(見込み)

総会・新年懇親会 感想文

藤井 邦男(飯山市出身)

近畿長野県人会の行事へ参加は2度目です。今回は会場のテーブルには同じ地域の出身者が一緒になって、懐かしい地元の談義に花が咲き、大いに楽しみました。故郷を離れ関西に移り住んで40数年が経過して田舎もすっかり変わったとの話に懐かしさを感じました。

お楽しみ抽選会では信州の特産品をゲットでき大満足で、次回も楽しみにしています。

今回の企画にご尽力いただいた役員の皆様には心から感謝いたします。

玉井 成男(上田市出身)

昨年、近畿長野県人会の存在を知り、入会させて頂きました。早速、高坂会長・中井様の紹介で全国高校駅伝・女子駅伝の応援に駆け付け、近畿長野県人会の組織の強さを感じました。

本日の総会・懇親会は多くの長野県出身の方々にお会いできると思い、楽しみにしていました。懇親会は料理の良さも勿論ですが、お楽しみ抽選会等、趣向を凝らした内容で大変盛り上がり、楽しい時間を過ごさせて頂きました。県歌「信濃の国」の斉唱は遠慮なく大きな声で歌う事が出来て、少し「ホロ」としました。

県人会の一員として長野県の良さを近畿で広められるよう活動して行きたいと思えます。



森本 榮子(塩尻市出身)

本日は楽しいひとときを本当にありがとうございました。会長・副知事様のお言葉にもありましたが、長野県人の皆さま方のご活躍をお聴きし、たいへん嬉しく思いました。

会場は故郷の130余名の方々の方々の地酒の乾杯に始まり、美味しいお料理に舌鼓をうちながら賑やかに楽しく、又抽選会も大いに盛り上がり、参加させていただいた喜びをかみしめる事が出来ました。これも会長様はじめ役員の方々の皆さまのお陰と心から感謝しています。

信州の、心が暖まるような雰囲気でのひととき、本当にありがとうございました。感謝。

内山 純男(喬木村出身)

初めて新年会に参加致しました。

故郷を離れてから丁度50年。関西には昭和48年の転勤を機に、縁あって通算33年住んで居ります。

年を重ね、帰省を兼ねて信州を旅する回数も多くなり、伝統や歴史の知識は増えましたが、子供の頃に習った「信濃の国」を唄う機会はありませんでした。その県歌を今回は100名以上の長野県出身者と大合唱することが出来、大感激しました。

関西にも多くの長野県出身者が活躍されて居る事を知り、長野県人としての誇りを再認識させられた会になりました。



長野県大阪観光情報センターだより

長野県大阪事務所長 樋口 隆教

信州デスティネーションキャンペーン

本年7月から9月に実施する『信州デスティネーションキャンペーン』は、長野県と全国のJRグループ、県内市町村、観光関係者等が一体となって実施する大型観光キャンペーンです。長野県での開催は7年ぶりとなります。



伊那市の高遠城址公園

キャッチフレーズは、「海の沖縄」「大地の北海道」などに匹敵する「山の信州」を強く印象づける「世界級リゾートへ、ようこそ。山の信州」としました。世界水準の山岳高原リゾートを数多く擁している長野県をより深く広くアクティブに体験し楽しんでいただける旅行スタイルを提案します。

また、山の恵みであるきれいな水や空気、豊かな自然、そして、この地に伝わる郷土料理や美味しい地酒を、「信州山ごはん」として定義づけ、旅館・ホテル、飲食業界と連携して提案いたします。

そして、「世界水準の山岳高原観光地づくり」を引き続き推進するため、「山の信州」の魅力あふれる観光素材を国内外に発信することにより、「世界級リゾート」としての信州・長野県を強くアピールして参ります。

また、お越しいただいた方が満足し、リピーターとなっていただくために、県民が一体となっておもてなしを実践するとともに、県民が長野県に住むことの誇りを再認識することにより、さらなる観光地域づくりを推進して参ります。

北アルプス国際芸術祭2017

～信濃大町 食とアートの回廊～

平成29年6月4日から7月30日の57日間、北アルプス国際芸術祭実行委員会主催による芸術祭が開催されます。これは現代アートの力を借りて大町市の魅力を国内外に発信し、観光誘客により人々の流動・交流を起し、地域を交流の場とすることなどを目的としております。

国際的なアーティストが大町市の地域資源（北アルプス山麓の雄大な景色や、縄文時代から続く歴史、雪国の生活技術など）と出会い、サイトスペシフィックなアート作品を制作することによって、地域の魅力を再発見するアート作品を展開するものです。

作品は、大町市内を五つのエリア（源流、仁科三湖、市街地、東山、ダム）に分け、40点程度の展示が予定されております。



初夏の黒部ダム

木曾路はすべて山の中 ～山を守り 山に生きる～

平成28年4月木曾地域は文化庁が定める「日本遺産」に、長野県で初めて認定されました。

「日本遺産」は地域の歴史的魅力が文化・伝統を伝えるストーリーとして認定され、有形・無形の文化財を整備・発信することで地域の活性化を図るものです。

今回認定された木曾地域のストーリーは以下のとおりです。

【木曾地域の伝統を伝えるストーリー】

戦国時代が終わり新たな町づくりがすすめられると、城郭・寺社建築の木材需要の急増は全国的な森林乱伐をもたらした。森林資源が地域の経済を支えていた木曾谷も江戸時代初期に森林資源の枯渇という危機に陥る。

所管する尾張藩は、禁伐を主体とする森林保護政策に乗り出し、木曾谷の人々は新たな地場産業に暮らしの活路を見出した。

そして、江戸時代後期、木曾漆器などの特産品は、折りしも街道整備が進み、増大した御岳登拝の人々などによって宿場から木曾路を辿り全国に広められた。

江戸時代、全国に木曾の名を高めた木曾桧や木曾馬、木曾漆器などの伝統工芸品は、今も木曾谷に息づく木曾の代名詞である。



妻籠宿の桜

'17食博覧会・大阪

本年4月28日から5月7日までの10日間、インテックス大阪において「'17食博覧会・大阪」が開催されます。

これは、国内最大級の食イベントとして認識されており、今回の開催テーマは、「日本の祭り 日本の味くらべ」となっております。

長野県からは、郷土食「おやき」に加え、近年、評価が高い「日本酒」や「ワイン」といった食材を御用意いたしますので、是非、おでかけください。



信州郷土食「おやき」

今年も就航！「JAL大阪⇄松本線」

本年も8月の1か月間、日本航空の「大阪国際空港(伊丹)⇄信州まつもと空港」線が就航されます。

飛行時間は約1時間と、陸路よりも極端に短縮できます。

75日前予約のウルトラ先得制度を利用することで、安価な運賃で利用することができますので、ビジネス利用の他にも、夏季の信州旅行やお盆の里帰りの計画を早目に立てていただき、この便の活用をお願いします。

【運航ダイヤ】

伊丹 08:40発 ⇒ 松本 09:30着
松本 10:10発 ⇒ 伊丹 11:00着

観光情報のお問合せは

長野県大阪観光情報センター

TEL：06-6341-8205

FAX：06-6456-2889

E-mail：osaka@nagano-tabi.net

近隣長野県人会トピックス

[京都長野県人会]

新年祝賀会・全国女子駅伝大会慰労会を開催

1月15日(日)18時から京都東急ホテル2階「雅舞の間」で来賓・会員・選手団80余名が出席、開催された。

当日は雪が舞う中、早朝から西京極競技場に集まり、京都長野県人会旗を掲げたスタンドで長野県チームを応援した。惜しくも入賞はならなかったが10位と健闘した選手たちを皆で讃え、表彰式のあと慰労会会場へ移動した。

新年祝賀会・慰労会は山田孝久事務局長が司会。有賀一夫会長の挨拶、来賓代表、選手団代表の挨拶の後、玉城良二監督が選手団を紹介し、乾杯、祝宴となった。

宴が進み、カラオケタイムでは選手たちもリラックスして楽しんだ。最後に佐々木文華主将がお礼を述べ、甘利警司三副会長の閉会の辞でお開きとなった。(高坂昌利会長 出席)



[名古屋長野県人会]

新春懇親会を開催

2月4日(日)11時30分から名古屋栄東急REIホテル2階で、来賓・会員など約150名が出席して開催された。

オープニングには「信州飯島 お陣屋太鼓」の演奏があり、「信濃の国」を2番まで歌ってから太田宏次会長の挨拶、来賓挨拶、鏡開き、飯島町下平洋一町長の乾杯で宴に入った。

今回も長野県内の市町村から首長、関係者など30余名が特別参加している。また日本福祉大学と名城大学駅伝部との交流があり、学生が6人参加し、受付などを手伝っていた。

宴の最後に全員が輪になって「ふるさと」を歌ってお開きとなった。(高坂昌利会長 出席)



[在広島信州県人会]

全国男子駅伝大会祝勝会を開催

1月22日(日)午後6時から広島市文化交流会館3階「銀河」で来賓、選手団、長野県関係者、会員約70名が出席、男子駅伝大会で3年ぶりに優勝、V7を達成した「チーム長野」の祝勝会が開催された。

選手団が入場し、天皇盃を囲んで記念撮影後、小林計夫会長の挨拶で祝勝会が始まった。

伊藤利博団長から優勝報告があり、選手団・役員紹介があった。4区の本間敬大選手と5区の名取燎太選手(いずれも佐久長聖高校)が区間賞を獲得。会場には表彰式で受賞した天皇盃、優勝旗、トロフィーなどが並べられ、祝勝会を盛り上げた。



同好会の活動報告

[カラオケ同好会]

◇第13回開催 H28.12.5(月)

- ・参加者15名(男子9名、女子6名)
 - ・歌謡練場うたおう(天神橋3丁目)
- 今回はいつもより1時間早い正午から開始、5時間たっぷり歌い、堪能した。



[グルメ同好会]

◇第6回開催 H28.11.22(火)

- 松茸と近江牛の食べ放題(2回目)
 - ・参加者25名(男子15名、女子10名)
 - ・場所 松茸屋魚松(甲賀市甲賀町神)
- いい夫婦の日に開催、5組の夫婦が参加。一生分の松茸と近江牛が食べ放題の“名物あばれ食い”に皆さん大満足でした。



[ゴルフ同好会・みすず会]

◇秋季ゴルフコンペを開催

10月25日(火)に12名が参加して晴天の中、池田和正会長の紹介の泉南カンツリー倶楽部でラウンドした。今回は太田豊和さんが初参加で、武田啓嗣さんが優勝した。終了後、成績発表・表彰式をかねて軽食をいただきながら懇談した。

[成績] (敬称略)

- 優勝 武田 啓嗣 G 97 N 73.0
- 2位 福井 暉子 G 93 N 73.8
- 3位 竹村 章 G 87 N 76.2

次回、春季大会は4月13日(木)池田カンツリークラブで開催します。



[大相撲愛好会]

◇大阪場所(春場所)で御嶽海関を応援

3月13日(月)、大相撲愛好会メンバー20名が大阪場所会場のエディオンアリーナ大阪に集まり、御嶽海関を応援した。

また、3月5日(日)には堺市のホテルリパティプラザで出羽海部屋の力士との懇親会があり、こちらにはメンバー6名が参加した。



[ハイキング同好会]

◇第13回開催 H28.12.6(火)

年末恒例の灘の酒蔵めぐり(3回目)

- ・参加者16名(男子11名、女子5名)
 - ・阪神魚崎駅～浜福鶴吟醸～菊正宗酒造～白鶴酒造～石屋川公園で昼食～神戸酒心館(福寿)～甲南武庫の郷～阪神新在家駅
- 最初の浜福鶴吟醸で宮脇杜氏の名漫談を聞いた後、何種類も試飲、買物。暖かな日差し
の石屋川公園で昼食、最後は甲南武庫の郷で漬物の試食と買物。



[麻雀同好会が発足]

- ・参加者11名(男子9名、女子2名)
- ・予てより要望があった麻雀同好会が、親睦と脳トレを目的として発足。2月20日(月)に大阪駅前第1ビルのB1にある大和クラブで初心者も参加して開催された。



全国高校駅伝応援記

男子・佐久長聖高校は準優勝
女子・長野東高校は6位入賞

高校駅伝競走大会は12月25日(日)快晴、気温13℃の西京極陸上競技場で行われた。

先に女子が10時20分スタートした。長野東は1区の和田(2年)が区間賞の走りを見せ首位で2区松澤(2年)に繋ぎ、3区高安(2年)、4区村上(3年)と2位をキープして、アンカー岡村(3年)に託した。結果は、長野県大会の記録を1分短縮し、過去最高位の6位入賞となった。

男子は12時30分にスタートした。佐久長聖は1区名取(3年)、2区松崎(1年)、5区内田(3年)の3人が区間賞の快走を見せた。3区までは首位をキープしたが、3・4区で猛追した倉敷(岡山)にかわされ、5・6・7区と追いついて県大会の記録を3分近く短縮するも準優勝に甘んじた。

競技後の報告会では、高見澤監督・相馬主将の応援お礼の言葉と決意表明があった。

スタンドには県人会メンバー9名と樋口所長・八十二銀行大阪支店次長ご夫妻が駆けつけ、京都長野県人会のメンバーとともに声援を送った。

激励会

12月23日(土)午後5時30分、長野東・佐久長聖両校の選手宿舎へ、高坂会長と京都長野県人会の有賀会長他5名の役員とともに激励訪問し、玉城監督(長野東)と高見澤監督(佐久長聖)に激励の言葉と金一封を贈りました。

中井良策(佐久穂町出身)

皇后盃女子駅伝大会(第35回)

1月15日(日)、前日から降り続く史上初の大雪の中、皇后盃全国女子駅伝が西京極陸上競技場を発着点に、京都国際会館前で折り返す9区間42.195kmのコースで47都道府県チームが参加して行われた。競技場にも、駅伝コースにも積雪が見られ、主催者は早朝から除雪作業に追われた。

レース中にも雪が降り、選手の視界が遮られる厳しいコンディションの中、長野県チームは1区16位、2区6位(10人抜き)、3区13位、4区9位、5区5位(区間2位)、6区3位、7区8位、8区3位(区間賞)と健闘したが、各チームに実業団のエース級がそろそろ最終9区で力の差を見せつけられ、前回から4つ順位を上げるも10位と入賞を逃した。

当会の有志は京都長野県人会とともに、選手の戻るのを待つ間、ふるさと屋台村で名物料理と銘酒に舌鼓を打ち、空腹と寒さを凌いだ。

激励会

競技前日の1月14日(土)17時30分、雪のちらつく京都・西本願寺の向いにある魚岩旅館において長野県選手団の激励会が行われた。

内山副団長の挨拶と玉城監督の役員・コーチ陣・選手の紹介がされた後、田中県教委課長補佐、樋口大阪事務所長、丸山県体協専務理事、船坂京都長野県人会副会長、近畿長野県人会(筆者)と、それぞれの激励の言葉があり、激励品や金一封を贈って、健闘を祈った。

中井良策(佐久穂町出身)

高校ラグビー応援記

岡谷工業高校 初戦を突破

第96回全国高等学校ラグビーフットボール大会が昨年末12月27日(火)から、東大阪市花園ラグビー場で開催された。郷里の代表は岡谷工業高校が5年連続出場し、大会2日目の28日(水)沖縄県代表の名護高校と対戦した。

試合前、長野県大阪事務所樋口所長、当会高坂会長は、学校代表森下先生とラグビー部父母の会中村会長を訪ね、出場を祝し選手諸君を激励した。

年末一番の冷え込む朝、地元からの夜行バスで来阪した応援団に加勢して、我々10余名は寒風の中、大きな声援を送った。

実力伯仲の好試合で、前半は5対14とリードを許すも、後半に岡谷工業は巧みな展開を見せた。9点差を追う後半の半ばPGで6点差に持ち込み、最後にトライとゴールで22対21と劇的な逆転勝利を収めた。チーム全員の気迫のこもった戦いであった。万歳！万歳！万歳！

勝ち進んでの2回戦は、30日(金)東京代表の東京高校と対戦した。相手は全国選手権で4強となったシード校だけに、一方的な試合にならぬように、気力は負けまいと小旗を振って応援するも1トライのみの5対73と大苦戦であった。力の差を見せつけられた試合であったが、初戦の勝利は今後に手応えのある一歩を刻んだ。更なる努力を重ねて、次回の活躍を期待する。

掛川俊一(小諸市出身)



近畿長野県人会55年の歴史

近畿長野県人会は昭和37年に発足、本年創立55周年を迎えます。その歴史の概要を紹介します。

大阪長野県人会創立

昭和37年(1962年)5月13日 創立総会開催

初代会長に春日弘氏(山ノ内町)

会員約300人、年会費200円

事務局を県大阪商工事務所(現大阪事務所)に置き、宮川武治所長が事務局長となった。

S38.12.1 会報「信濃」創刊

B5版・縦書き8ページ。題字は西澤権一郎知事の書。西澤知事や春日会長のお祝い文が掲載されている。

S39.10.1～2 第1回郷土訪問旅行開催

長野県庁訪問と善光寺・戸隠を訪ねる

S41.6.11 2代目会長に田中泉氏(更埴市)

S45.3.1 ゴルフ同好会「みすず会」発足

みすず会初代会長：小口正氏(岡谷市)

第1回コンペ：茨木カンツリー倶楽部

S49.5. 3代目会長に栗田敬次氏(長野市)

S51.5.29 「近畿長野県人会」に改称

広く近畿一帯の県出身者に呼びかけ、会をより一層発展させたい。

S55.5.17 4代目会長に滝沢文保氏(長野市)

S57.5.26 5代目会長に峯村英薫氏(上田市)

H2.5.19 6代目会長に河西計介氏(諏訪市)

H4.5.23 法人会員の新設

(長野県にゆかりのある企業)

H7.1.17 阪神大震災発生

H13.5.26 4地区懇親会を新設

北・東・中・南信に地区長を置き、9月の南信地区を皮切りに地区懇親会を開催した。

H14.5.12 創立40周年記念総会・懇談会

創立40周年記念誌「40年のあゆみ」発行

H16.5.23 会計年度の変更

4月～3月を1月～12月(暦年)に変更

H17.1.22 定期総会・新年懇親会を開催

定期総会を新年会と一緒に開催

H18.2.26 7代目会長に小倉裕氏(岡谷市)

H21.2.15 8代目会長に吉池南翔氏(東御市)

4地区懇親会を解消、地区担当役員を設置

年会費を2,000円に改定(前：3,000円)

H21.7.19 第1回全員懇親会を開催

映画鑑賞会「Beauty美しいもの」

H22.7.18 第2回全員懇親会を開催

上方落語会「仁福・三弥のたっぷり二人会」

創立50周年記念式典・祝賀会を開催

H24.2.19 記念講演「私の歩んだ道」

山岸哲氏(山階鳥類研究所名誉所長・

兵庫県コウノトリの郷公園園長)

5.31 記念誌「50年のあゆみ」を発行

H25.1.27 9代目会長に高坂昌利氏(長野市)

H25.4.1 事務局にインターネット開設

会員のアドレスを登録、情報交換の迅速化

H25.7.14 第3回全員懇親会を開催

舞踊と音楽鑑賞会「シルクロード・オアシス」

H25.10. **新たに3同好会が発足**

日頃の交流を促進するためカラオケ同好会(10.15)、ハイキング同好会(10.22)、グルメ同好会(11.9)が活動を開始した。

H28.2. 大相撲愛好会が発足

3月大阪場所で長野県出身御嶽海関を応援

H29.2. 麻雀同好会が発足

H28.9.17 第4回全員懇親会を開催

西宮神社参拝とえびす座の人形芝居鑑賞

H29.1. 年会費を3,000円に改定実施

(前：2,000円・H28.2.総会で承認)

H29.3. 公式ホームページを作成

(次ページ参照)

お知らせ

◇公式ホームページを作成・公開

創立55周年を記念して「近畿長野県人会公式ホームページ」を作成しました。

会員の皆さまへの情報提供として懇親会の開催、長野県代表チームの応援、同好会などの事業活動・予定等を掲載します。また広く周知することによって、新会員の入会促進にも活用したいと思えます。是非一度、“検索”いただき、内容をご覧ください。

検索：近畿長野県人会公式ホームページ

<http://kinki-nagano-kenjinkai.com//>

◇個人会員の年会費改定

昨年2月定期総会で個人会員の年会費改定が承認され、本年1月から実施されました。

ご負担をおかけしますがご理解いただきたくお願いいたします。

年会費の改定：3,000円(前：2,000円)

副会長会の開催

○平成28年12月15日(木)10時30分

大阪市立総合生涯学習C第4会議室
出席者 14名

(1)平成29年定期総会議案について

(2)新年懇親会開催について

日程、会場、会費8,000円について決定

(3)役員会の開催について

日程、会場、議題について確認

役員会の開催

○平成29年1月17日(火)10時30分

大阪市立総合生涯学習C第5研修室
出席者 34名

(1)平成29年定期総会議案について

(2)総会・新年懇親会について

プログラム・運営体制・役割分担など決定

顧問の委嘱・役員の変動

(1)顧問委嘱 H29.2.6

竹内 俊隆 氏：上田市出身

(大阪大学大学院教授・上田高校関西同窓会会長)

(2)役員変動(敬称略) H29.1.29

常任理事(理事) 植松 高志(富士見町)

常任理事(理事) 島田 宗人(長野市)

理 事(新任) 野池 徹(長野市)

新入会員の紹介 (平成28年10月以降)

(敬称略：氏名・出身地＝紹介者)

近藤 美鈴 (駒ヶ根市) = 北澤 健司

田口 宏雄 (東御市) = 掛川 俊一

小林 徹彦 (辰野町) = 事 務 局

相澤 春美 (松川村) = 事 務 局

船坂 昭夫 (駒ヶ根市) = 北澤 健司

小林 照恵 (須坂市) = 藤保 君子

松山 哲郎 (松本市) = 平林 運敏

佐藤 正光 (筑北村) = 平林 運敏

ご 逝 去 (敬称略)

阿部 百合子 (千曲市) 平成28年12月29日

藤田 泰之 (松本市) 平成29年1月10日

小島 宏 (下諏訪町) 平成29年2月22日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

お楽しみ抽選会で盛り上がった総会・新年懇親会をトップ記事に、同好会の活動や駅伝・ラグビーのふるさと代表チームの応援の記事を加え、スペースの許す限り多くの写真を掲載しました。

参加できなかった方にも雰囲気を知っていただけたらと思います。

また、上記でご案内した公式ホームページと併せて、新しい会員の勧誘にも会報の活用をお願いいたします。(安藤隆雄 記)

「信州」という選択。



長野県への産業立地 4つのしあわせ

信州で“繋がる”しあわせ

- 日本の真ん中
- 関西とのアクセスもより便利に

信州で“続ける”しあわせ

- 良質な水が豊富
- 強固な地盤と少ない降水量

信州で“感じる”しあわせ

- 時間にも住空間にもゆとり
- 健康長寿と勤勉で豊富な人材

信州で“広がる”しあわせ

- 次世代産業の創出を目指す
- 研究開発拠点の立地として好適



しあわせ信州

■産業立地のお問合せは 長野県大阪事務所
TEL:06-6341-7006 FAX:06-6456-2889
E-mail:osakajimu@pref.nagano.lg.jp